

的確な治療を受けるために！ ぜんそく・アトピー性皮膚炎 講演会とQ&A

主催 認定NPO法人 日本アレルギー友の会
後援 東京都・一般社団法人日本アレルギー学会・
公益財団法人日本アレルギー協会
日時 平成25年11月17日(日)
12:30~16:00(開場12:30) **入場無料**
場所 東医健保会館ホール
東京都新宿区南元町4番地(JR信濃町下車4分)

申込

電話・FAX・Eメールで事前にお申込みください。
認定NPO法人 日本アレルギー友の会
 ☎03-3634-0865 FAX 03-3634-0850
 Eメール j-allergy@nifty.com

*** 来場者の方に、治療情報冊子や敏感肌用のスキンケア用品のサンプルを差し上げます！**



認定NPO法人
日本アレルギー友の会
 〒135-0002
 東京都江東区住吉2-6-5
 インテグレート村上3F
 TEL 03 (3634) 0865
 FAX 03 (3634) 0850
<http://www.allergy.gr.jp/>
 mail j-allergy@nifty.com
 郵便振替 00130-6-109985
 編集発行人 堀内 繁

今回の講演会は「的確な治療を受けるために」というテーマです。的確な治療を受けるためには、患者自身が自分の病状を正確に把握すること、それを主治医に正しく伝えることが大切です。

第一部ではアトピー性皮膚炎とぜんそくの専門医を招き、病状のコントロールについて講演していただく予定です。病状の把握がよ

くできない方、日頃コントロールが上手にできない方、慢性的な病気は治らないからと諦めている方に、お役に立てると講演になると期待しています。

第二部は講師の先生と当会の常任顧問の江藤先生・坂本先生を囲んでQ&Aです。今回もアトピー性皮膚炎・ぜんそく治療の専門医である講師の江畑先生と浅野先生が、直接みなさんからの質問にご回答くださいます。常

◆目次◇

アトピー性皮膚炎Q&A①	(2)
ぜんそくQ&A①	(3)
アトピー性皮膚炎ドットコム対談	(4)
私たちが体験したアトピー性皮膚炎治療①	(5)
	(6)
	(7)

任顧問の江藤先生・坂本先生からのアドバイスもいただけます。1時間以上の時間をとってありますので、たくさんの方の質問にお答えできます。ほかの方の質問や回答が参考になったという方もいらっしゃいます。ぜひご参加ください。

第一部 講演

1. アトピー性皮膚炎

— 安心できるセルフコントロールをめざして —
 ちとふな皮膚科クリニック院長

江畑俊哉先生
 アトピー性皮膚炎の治療の目標の1つは、患者がセルフコントロールできるようにすることです。日頃実践しているステロイド外用薬の具体的な使用方法を説明していただき、セルフモニタリングについてご講演いただきます。

2. 喘息のコントロールが難しい時に

〜喘息専門医の考えていること〜
 東海大学医学部内科学系呼吸器内科学教授
 浅野浩一郎先生

ぜんそくの原因はさまざまです。標準治療を受けているにもかかわらず、治療効果が思わしくない場合もあります。そのような場合にどうしたら良いのか、専門医の立場からどういうことを考え治療をしているか、話していただけたらと思います。

3. 実演・上手な診察の受け方

当会のスタッフと常任顧問で良い診察の受け方の見本と、良くない診察の受け方の見本を紹介します。みなさまの受診の時の参考にしていたきたいと思えます。

第二部 先生を囲んでQ&A

アトピー部門、ぜんそく部門に分かれて行います。普段疑問に思っていること、主治医に話にくいこと、聞けないことなどを専門医に質問できる絶好の機会です。セカンドオピニオンとしてもご利用ください。当日質問票をお配りしますので、質問を事前に整理して来られることをお勧めします。(稲葉吉治)



江畑俊哉先生



浅野浩一郎先生

アトピー性皮膚炎Q&A①

【回答】 慶應義塾大学医学部皮膚科学准教授 海老原 全先生

【司会】 東京通信病院皮膚科部長 江藤 隆史先生

★プロアクティブ療法とは？

質問 皮膚の状態が良い時でも、3日に1回程度、プロトピックを塗るよう医師から指導されました。ヒリヒリやほてりの副作用対策と説明されましたが、これはプロアクティブ療法なのでしょうか。

海老原先生 プロアクティブ療法は、前々から皮膚科医はやってきたことですが、良くなってきた時に、体ならステロイドをランクの弱いものに替えていくとか、それで良ければ保湿をメインにして、時々ステロイドを使用したり、回数を減らしたり、毎日塗っていたのを1日おきにしたりします。回数を減らす方法を、最近になって海外でプロアクティ

ブ療法と名前がつけられて報告があったのでその名前が前面に出ています。

顔にプロトピックを使っていらつしやる方は、最初は毎日しっかり使ってもらって、症状が治まってきたら、徐々に減らしていくように指導しています。これもプロアクティブと言えばプロアクティブです。

ヒリヒリ、というのは、どうしてもプロトピックの持っている作用としてあるのですが、長い間使わないで、また使うと、どうしても最初と同じヒリヒリやほてりが出ることは確かなので、そういうのを少なくする意味でも少し定期的に塗っていったほうがいいでしょう。

首も、よく色素沈着ができませんね。赤くなって、治つたところは茶色くなって、また赤くなって茶色くなってという繰り返しがあると色素沈着が起こるのです。それを抑えるべく赤みをつけないように、首もプロトピックを定期的に塗つたほうが良いのです。

★薬を塗り続けても効果に変化はない

質問 良い状態の時に薬を塗ると、悪くなった時に効き目が弱くなりませんか？

海老原先生 効き目が弱くなるというのは、昔からステロイドに関するご質問でよく受けますが、これはほぼないでしょう。プロトピックに関しても、今のところ、報告されて

いないので、使いすぎて効かなくなるということとは心配しなくていいのではないのでしょうか。

江藤先生 プロトピックを久しぶりに塗るとヒリヒリしてしまうというのは、プロトピックが効いて良くなって止めていたけれど、まだ良い状態だと思っていた皮膚がだんだん悪化してきているということなのです。ですから、ヒリツとしないくらいの時のタイミングで塗るのが、皮膚にとつて優しく、わずかな量で皮膚を治してくれる、これがプロアクティブ療法なのです。プロトピックというのは、塗って、ある程度良くなつてくると刺激がなくなるのですが、しばらくぶりに塗って刺激があるというのは、アトピーがぶり返しているということなんです。プロトピックは分子量が大きいので、ぶり返しが軽い段階で塗れば、微量しか皮膚の中に入らずに、刺激がゼ口に近い状態です。薬が効かなくなるとこのことに関しては体のほうのステロイドに対する反応が鈍くなるのではないだろうか、ということが言われましたが、ステロイドパッシングなどもあり、ドクター自身も引け腰でステロイドを使っていたために、十分な効果が得られず結局効かなくなつたように錯覚していたとわれわれは理解しています。

★妊娠中・出産後は自分で症状を把握し、薬で上手にコントロールを

質問 2年前に出産した直後から全身にアトピーが出てきました。今は顔以外は徐々に良くなっています。現在第二子を妊娠中で、保湿のみで症状を抑えられています。次の出産後も今の状態を維持するためにどのように治療をしていけば良

いでしょうか。医師からは原因はストレスだと言われますが、今から対処法を知っておきたいので、考えられる原因を教えてください。

海老原先生 そこが難しいですね。1つの原因があれば、ボンとそれを治せばというのがあればいいんでしょうけれど、アトピー皮膚炎の場合はなかなかそういうのがはつきりしないことが多いです。逆のパターンもあります。妊娠されて、出産されて、今まで悪かつたのが良くなる方もいらつしやる。それはホルモンのこともあるかもしれないし、育児で睡眠時間が少なくなつたりと、いろいろなことが合わさっているのだと思います。これが原因で、これをやめれば治るといえるのは、見つけるのは難しいかもしれないです。

江藤先生 気持ちにはわかりません。原因がわかれば、それを断ち切れば改善できるはずだと今までも何もなかったし、妊娠していることがそんなストレスでもないし、結構多くの人はそういうふうにいる。そういう時、医師は、ストレスとよく言いますが、妊娠で症状が良くなる人もいますが、



回答される海老原先生(左)

むしろ悪化する人が多いですね。妊娠中は、少なくとも飲み薬を僕は全部やめさせる方針ですから、抗ヒスタミン薬のようなかゆみを抑える薬をやめると、それだけでもかゆくなります。その時には、ステロイド外用薬を十分に塗った方がいいのです。

質問者 妊娠中は良くなるのです。出産すると悪くなるのです。

江藤先生 それはいちばんあるパターンで、出産した後の女性は、夜中に起こされるし、おしめは替えなきゃいけないし、疲れます。そういう場合、自分は妊娠中はいいけど、お産が終わった時悪化するということを自分で認識して、しっかりと薬を塗る。とくに顔面にプロトピックは塗れないから、弱いステロイドを、授乳が終わるまでは塗るというふうに割り切ったほうが楽です。

★湿疹とにきびのようすをみながら

塗り方をコントロールする

質問 顔に夜1回プロトピックを塗っています。かゆみは治まっていますが、副作用でにきびができて治りません。アクアチムを塗っていますが、うまく効いていません。

海老原先生 プロトピックという塗り薬でいちばん問題なのは、一般に白にきびとかcomedoとか言われるものが出やすくなるということです。それが赤くなつて、本当の赤いにきびになることも結構あります。その場合はプロトピックを塗る回数を減らすとか、その部分だけあまり塗らないようにする。併せてアクアチム、ダラシンという抗生物質入りのクリーム、ゲルを使ったり、飲み薬を使ったりする場合があります。うまく湿疹の状態を抑

えるのと、にきびの状態を抑えるのとの間に折り合いをつけていくような形にしないといけません。

副作用の面で顔は、ステロイドよりプロトピックのほうが出にくいということですが、ステロイドもにきびみたいなものができやすくなります。以前ステロイドで問題になったのは、顔や首の前側に長期にわたって連用した時に、皮膚が薄くなったり血管が浮き出てきたりという副作用が出たことです。プロト



広い会場もいっぱい

ピックではそういう副作用はありませんので安心です。

体でも同じようなことが言えるかもしれませんが、顔に関して言うと、プロトピックのほうが副作用の面では安心なので、医師も顔に関してなるべくプロトピックが使える状態に持っていくことを治療として心がけていきます。

江藤先生 僕は開発の時から、つまり1991年からプロトピックを使っているのですが、

思っていた以上に、プロトピックはにきびを出しました。これは局所での免疫を抑えるからで、にきびの出やすい方ではにきびの治療を並行しなければなりません。にきびが激しく出た場合は、抗生物質のミノマイシンを併用します。女性の場合に、生理のちよつと前に悪くなるとしたら、その時には必ず飲んで予防します。にきびが出てからじゃなくて、出る前に飲んで抑えてしまうのです。

プロトピックは1999年に発売されたのですが、1991年から臨床試験を始めています。最初の臨床試験は顔の半分はプロトピックを塗って、顔の半分はワセリンという試験でした。ところが、顔半分は塗っても顔全部に効いてしまう。ステロイドでは半分塗れば、半分だけ顔が白くなつて、半分だけが赤い。プロトピックはおでこにちよつと塗るだけでも、その範囲を超えて効きます。だから、にきびの部分には直接塗らずに、周りを避けて塗れば十分効くのです。このように塗る場所を制限してにきびの治療をするということは先生方も工夫されていると思います。

★触ってこぼすところは

しっかりとステロイドを

質問 アンテベートの塗り方が悪いのか、両手首に色素沈着を起こしてしまいました。塗り方が足りないのでしょうか。

海老原先生 塗り方はいいのだと思います。黄色人種は、赤い炎症が起こった後はどうしても皮膚の構造上、茶色い状態が残ります。メラニンという色素が皮膚の下にくずれて落ちるのですが、皮膚の炎症が治まった後はそこにメラニンがしばらく残っています。その後、メラニンが吸収されて、細胞の中で食べ

られていくのですが、それがなくなるまでは茶色い状態が残ります。逆に赤いのが治まって茶色くなっているというのは、塗り方はしっかりとしています。

江藤先生 (患者さんの肌を直接診てから)この患者さんは茶色いではなくて、赤茶色の苔癬が残っていますね。よく、まだ茶色っぽく残っていて治つてないと思つても、手で触ると、全く普通の薄い皮膚になつていればそれは治つたということなので、われわれもステロイドを中止してもいいよと言います。

ただこの場合はまだ触るとこぼこしている。みなさんもぜひ、自分の皮膚が良くなつたかどうか、目をつむつて触つてみてください。その時に、触つた皮膚が本当にさらつとしてるか、ちよつとこぼこしているか確認してみてください。こぼこしているところは炎症細胞がいるのです。われわれが病理で見ると、リンパ球がいっぱい浸潤しているのが手でさわれます。そこはステロイドを塗らなきゃいけない。そういうところは塗り方が足りないのです。この場合はアンテベートがいいですよ。

海老原先生 塗る回数を増やして、しっかりと塗ればいいのです。

(平成25年5月26日 日本アレルギー友の会講演会より、採録 大橋由紀)

広告の薬の表示について

薬品には、どのような薬物にも副作用がありますので、薬についてご心配な場合には、友の会へご連絡下さい。

ぜんそくQ&A①

回答 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院副院長
呼吸器内科教授 駒瀬 裕子先生

司会 関東中央病院呼吸器内科部長 坂本 芳雄先生

進行 日本アレルギー友の会副理事長 武川 篤之先生

質問 子どもの頃、気管支ぜんそくでした。体質改善、体力作りを心がけ、今は健康にしています。気管支ぜんそくは高齢になると再発する可能性があると言われました。予防方法などありましたらお教えください。

駒瀬先生 体質はずっとお持ちですから、いつ出ても不思議はありません。年をとらなくても出るかもしれません。風邪をひいたりするとまた再発することもありますから、基本的にはぜんそくというのは一時的に良くなった、また出るかもしれないと思っておかれたほうがいいと思います。

予防ですが、風邪をひくと発作が出やすくなるので、風邪の予防が大事です。それと鼻炎、ほかのアレルギーの治療はきちんとしておかれたほうがいいと思います。

風邪をひくと、抗生物質と咳止めが処方されます。薬を2回替えて良くなかなかたら風邪ではない、と思つていただいて、お医者さんを替えるのも1つの方法と思います。あと、朝方に咳が出たら、まずぜんそくと思つていただいいていいと思います。

質問 67歳です。アドエアを使っていますが、状態が良くなってもずっとアドエアを使うのでしょうか。

駒瀬先生 専門医ですと、いろいろ検査をし

て、減らすかどうかを決めますが、一般論から言うと、3カ月全く症状が出なければ減らしてもいいと言われています。ただ、少しでも症状が出たら、減らさないほうがいいと思います。

質問 アレルギーの専門医を教えてください。

武川 当会でご紹介しますので、後日お電話をいただければ、お調べします。電話番号は今日の資料の封筒に出ています。



回答される駒瀬先生

専門医に診ていただくことも大事ですが、主治医とのコミュニケーションも重要です。症状を正確に伝える、聞きたいことを簡潔書きにしておく、ぜんそく日記をつけておき先生に見せるなどを心がけると、よりの確な診察が受けられると思います。

質問 67歳の男性です。私は10年くらい前に風邪をひいた時に呼吸が苦しくなつて、その時にぜんそくと診断されました。

一昨年、肺炎に罹患した後、咳・痰が出るようになり、その回数も増加傾向にあります。アドエア・ディスカスと去痰剤を服用しています。ぜんそくに完治はあるのでしようか。炎症が治まり、狭窄が治ることがあるのでしょうか。

駒瀬先生 ぜんそくでは体質がありますので、完治という言葉は使えません。寛解という言葉を使います。中には薬を全く使わなくてよくなる人もいますが、再発してもおかしくはないというのがぜんそくですから、一生お付き合ひするつもりでいたいただくのがいいかと思ひます。

肺炎の後、ぜんそくになる方は多いです。マイコプラズマ肺炎は非常にしやすいです。ぜんそくの方は肺炎になると症状が悪くなりますから、できたら肺炎球菌ワクチンも射つておいたほうがいいと思います。

質問者 肺炎になるまでは、咳も痰も出ないし、普通の人と全く同じで、山登りやスポーツもしていました。ところが肺炎後にこのような状態で、咳・痰が出てそれ以外の症状はありません。息苦しいこともないし、高い山も現在も登つていて平気です。発作というのはある日突然に苦しくなるのでしょうか。

駒瀬先生 ぜんそくの診断は、すごく難しい時があります。典型的な症状で来られればすぐわかりますが、何か咳が続くし痰が続くし、ぜんそくかなと思つて治療してみてもすつきり取れないという人は結構います。われわれ専門医が診ていても、すごく難しい方がいらつしやいます。

多分肺炎の後、普段のコントロールがちよつと悪くなつていたので、薬を増やさな

SHISEIDO

d program
Peace for Skin

低刺激というプライド
素肌に平和を。厳選成分生まれのdプログラム。
www.shiseido.co.jp/dp/

お問い合わせは 0120-81-4710 (9:00~17:00/土・日・祝日を除く)

ダイワボウ・信州大学・
科学技術振興機構の共同開発

daiwabo

皮膚トラブルの原因を除去
ダニや花粉、ハウスダストのアレル物質を吸着

アレルキャッチャーAD

ベビー用カバーオール・長袖シャツ・8分丈パンツ・チューブサポーター

●カタログ・インターネットでお求めいただけます。

詳しくはこちら
アレルキャッチャーAD 専用ウェブサイト
http://www.allercatcher.com

ダイワボウノイ株式会社 機能製品課
TEL.06-6281-2411 http://www.daiwabo.co.jp/

OMRON

オムロン
コンプレッサー式ネブライザ
NE-C28

乳幼児からお年よりまで
誰でも簡単に薬を
吸入できます。

医療機器届出番号
: 26B1X10002000007
一般医療機器

オムロン コーリン株式会社
〒112-0002 東京都文京区小石川 1-12-14



熱気いっぱいの会場

いとだめな感じがします。普段のコントロールが落ち着けば、また薬を減らせると思いますが、今使っているもの以外に、別な薬を加えるのですか。

駒瀬先生 加える場合もあります。鼻の症状が悪いと、ぜんそくみたいに痰が増えたりするので、鼻の治療をするとぜんそくが良くなるのが結構あります。

質問者 アドエアの回数を増やすということもあるのですか。

駒瀬先生 アドエアは吸入回数が決まっています。増やしてはいけません。

アドエアは幾つを吸っておられますか。250かそれとも500マイクログラムですか。

質問者 250です。

駒瀬先生 500というのがありますので、それに替えてもらってもいいと思います。

坂本先生 少し重症のような印象ですね。アドエアも250から500に増量することを

していいと思います。

質問 62歳の女性です。病名がついていないような、いないな状態です。自分でもはつきり自覚できないのです。日に何回か咳が出ます。温度差、におい、刺激物によって咳が出ます。式場やコンサートなど、緊張するところでも軽く咳が出ます。自分ではすごい発作はないと思っ

ているので、よく自覚ができません。自分の程度がよくわからないのです。

駒瀬先生 この方も、ぜんそくかどうか、とてもわかりづらい方の気がします。後になつて違う病気だったということもあります。きちんとレントゲン、痰の検査、肺活量の検査、アレルギーの検査などをしていただいて、耳鼻科も含めてきちんと検査をしていて、ぜんそくと言われているのであれば、やっぱりぜんそくで、ちよつと治療が足りないのかなという気がいたします。

坂本先生 温度差とか刺激物によって咳が出る、この点はどうですか。やっぱりぜんそく

駒瀬先生 温度差によって出る方は多いですね。精神的な要因によっても咳が出やすいことはありますので、そのへんも含めて、本当に良くなつてくると出なくなりますので、頑張つて治療してください。

質問 私は気管支拡張症と言われています。これとぜんそくは違うのですか。

駒瀬先生 ぜんそくと気管支拡張症は違う病気ですが、合併することはあります。

質問者 それで、いろいろ薬をもらっています。シムビコートも使っているし、いろいろな薬がどんどん替わるのですが、長く飲んで

いると副作用が出るのです。痰と咳は出ます。痰は朝と、寝た時に出来ます。

駒瀬先生 気管支拡張症の症状が前面に出ていないように思えますね。それはなかなか止められないですよ。

質問者 どんな薬を飲んだら止められますか。

駒瀬先生 人によって違うので今、先生が合う薬を苦労して探しておられるのではないのでしょうか。気管支拡張症はぜんそくと違って、症状が完全になくなるというのはなかなか難しい病気です。これも仲良く付き合つていた

だかないといけないですね。痰は気管支拡張症の時は出さないとだめです。

質問者 アドエアは私にも効くのですか。

駒瀬先生 アドエアには、拡張症の症状を取る効果はありません。

質問者 気管が詰まっているのですか。

坂本先生 いいえ、詰まりはしません。ただ、分泌物が非常に多く気管支の中に滞留します。また、気管支の変形を起こしてきます。ときに出血して咯血を起こす、そういう類の病気です。

質問者 咯血まではいきませんけれど。ありがとうございます。

質問 COPDでアドエアを使っています。痰と鼻水が常に出るのですが、副作用ではありませんか。よくうがいをしていいと菌(カビ)がつくからと言われ、使用後は必ずうがいをしていますが、それでもなかなか取れないです。

駒瀬先生 アドエアは口の中にカビが生えやすいということはありますが、それを使っているから、全身の状態が悪くなるということはない薬だと思います。ただ、具合が悪い時

に使うと、人によっては肺炎を起こすこともあるので、医師と相談しながら使つていただくということになります。基本的には大きな副作用はないと思つてもらつていい薬です。

(平成25年5月26日 日本アレルギー友の会講演会より、録採 稲葉吉治)

maruho
Excellence in Dermatology
皮膚科学領域での卓越した貢献を

マルホ株式会社
http://www.maruho.co.jp/

たとえば、
ナイチンゲールだったら
どうするだろう、
と考える。

hpc
ヒューマンヘルスケア企業 エーザイ
http://www.eisai.co.jp



アトピー性皮膚炎ドットコム対談

私たちが体験した

アトピー性皮膚炎治療①

1 さまざまな治療法を試して

②病院を何度も替えて、健康食品、漢方薬から温泉療法まで

江藤先生 アトピー性皮膚炎ドットコムはアトピー性皮膚炎の正しい情報を発信しているという趣旨で始めたものです。最近はずっとセス数が増えてきているようですので、今後ますます多くの方にご覧いただき、正しい情報

江藤先生 自分の意志で試したのですか。和合さん いえ、母親に勧められました。母親の知り合いや、友達からの情報が元でした。母親はいまだにステロイドに抵抗があると思います。父親は当時、とくに何も言わなかったですね。

今回は認定NPO法人日本アレルギー友の会事務局長の丸山さんと、脱ステロイドの治療を経験した患者さんたちにお話を伺いたいと思います。まずは治療歴をお聞かせください。和合さんからお願います。

和合さん 長期間治療してきて、あちこち通い続けましたが、万策尽きて動けなくなるかどうかの分岐点で、ここではじめて父親を通じて、ステロイドを正しく使う方針の先生に出会いました。皮肉にも極力避けていた、ステロイド外用薬の使用が治療のいちばんの近道でした。

和合さん 私がアトピー性皮膚炎の治療を始めたのは、13歳くらいです。地元の病院で免疫抑制剤外用薬とヘパリン製剤を処方されましたが、免疫抑制剤外用薬をいきなり全身に塗ったので副作用のヒリヒリ感に耐えられず

江藤先生 次に渡邊さん。ガチガチの脱ステロイド派だったそうですね。渡邊さん 僕はまず鼻炎から始まって、小学4年生でアトピー性皮膚炎と診断されましたが、その時はステロイドと飲み薬で抑えられていました。

ほかの病院に移り、そこでステロイドを使い始めました。それでも改善しなかつたので、また別の施設で脱ステロイドを行いました。どれも効果は得られませんでした。

5年生になるとぜんそくが始め、中学生になる頃には改善したのですが、その頃から薬をやめるとかゆくなる状態を繰り返すようになりまし。そんな時、人気のニュース番

その後、漢方薬治療や温泉治療を受けましたし、レンコンが効くと聞いて試したこともありまし。

組でステロイド特集が放送されたのを見たのです。江藤先生 確かにあれを見ると、ステロイドが怖くなると思います。渡邊さん 僕以上に母親が影響を受けました。あの報道で、ステロイドをやめないと勘当すると言われ、やむを得ずやめたらリバンドが起きて、全身に症状が出て悪化しました。そのことからステロイドに対する恐怖が増大し、それまで医師の姿勢に適當さを感じていたのですが、医師不信に拍車がかかり何度も病院を替えまし。

江藤先生 確かにあれを見ると、ステロイドが怖くなると思います。渡邊さん 僕以上に母親が影響を受けました。あの報道で、ステロイドをやめないと勘当すると言われ、やむを得ずやめたらリバンドが起きて、全身に症状が出て悪化しました。そのことからステロイドに対する恐怖が増大し、それまで医師の姿勢に適當さを感じていたのですが、医師不信に拍車がかかり何度も病院を替えまし。

高校卒業までは漢方治療を受けていたのですが、もう滲出液でベタベタになって、体育の授業も一切出ず、修学旅行にも行きませんでした。丸山さん その後もいろいろと民間療法を受けたのですよね。渡邊さん 温泉地でバイトしながら温泉治療をしたり、脱ステロイドで良くなったという女性のやっているエステティックサロンに給料の8割をつぎ込んだりしました。健康雑誌に効くと書いてあればあらゆることを試して、良くなったり悪くなったりを繰り返しました。ある健康飲料を飲んだ時に一気に悪くなって、江藤先生のところを受診し、ステロイド外用薬の治療を開始しました。

江藤先生 最初はちよつと怖い患者さんだと感じましたね。理論派だし、経験豊富なので渡邊さん はじめは江藤先生はちゃんと診てくれないと不満に思っていました。今なら僕よりも、もつと時間をかけなくちゃいけない患者さんがたくさんいたことが理解できます。江藤先生 本当はすべての患者さんをゆつ

り診なければいけないのですけどね。②ステロイドをやめ、滲出液が流れ出ている状態で20代を過ごす 江藤先生 石川さんも、いろいろ民間療法を試したのですね。石川さん はい。私は乳幼児の頃からアトピーの症状があつたので、物心ついた時から何の疑問もなくステロイドを毎日塗っていました。でも20歳頃、自然派化粧品を扱っている友人から「ステロイドは良くない!20年間使っているから、体に相当悪いものがたまっているよ」と言われて怖くなり、いきなりステロイドの治療を中止し、自然派化粧品を使いながら、さらにその友人が勧める高額の健康食品を摂り始めました。

その数日後、強いかゆみが始まり、強い日差しを浴びたのをきっかけに、全身の湿疹が一気に噴き出し、起き上がるのも辛い状態になってしまいました。でも友人には「良い兆候だからもう少し耐えて!」と言われて。江藤先生 毒が出ています、と。石川さん そうなんです。全身が腫れ上がり、血や滲出液が流れ出て身動きすることもでき

東レ/ケバックα アンテル II 使用 クリニックふとん 東レアンテル.C 使用 マイトフリーふとんカバー アトピー、アレルギー性疾患の方はもとより、ご家族の皆さまの健康のために。 製造販売元 株式会社 カービック ジャパン http://www.kirbic.co.jp/ お問い合わせ 資料請求は 0120-22-6471

ずに「このまま体が腐って死んでしまうのではないか?」という恐怖を何度も味わいました。泣くこともできないんです…。体温調節もできなくなり、寒くて震え、真夏にダウンを着ていた時期もあります。とくに顔面はひどく、眉毛やまつ毛が全部抜け、髪の毛も抜け、生え際が後退した状態で我慢しながら20代を過ごしました。

実は20代の中頃、一度通信病院に入院したのですが、ステロイドが怖くて治療を受けられず退院してしまい、その後は漢方薬・鍼・断食・温泉・玄米菜食などあらゆることを試しましたが、どれもそれだけでは効果がありませんでした。

渡邊さん 再度江藤先生の診療を受けたきっかけは何だったんですか?

石川さん 30代後半、信頼している方に紹介していただきました。正直まだステロイドへの恐怖はありましたが、以前一度入院したこともあり、江藤先生への信頼感が深く残っていたので、今回はステロイドをしつかり塗ることができました。

大切な20代、30代をアトピー性皮膚炎を治すために生きてしまい、あの頃はもう心身ともにクタクタだったんです。これを「自分の人生を生きるスタートにしたい!」と思ったので江藤先生のおっしゃる通り治療を受けよう!と決意することができました。

江藤先生 2回目の入院では、全く抵抗なくステロイドを使いましたよね。ある先生は「みなさんはアトピー性皮膚炎を治すために生きていてはいない。何をしたいかを決めたほうがいいのであれば、ついでに良くする

だけ」とおっしゃっていましたが、まさにその通りだと思います。

2 ステロイドに対する不信心

②ステロイドを月10本も

使っているのに治らない

江藤先生 次に江森さんお願いします。

江森さん 私は中学生の時にアトピー性皮膚炎と診断されました。当初はステロイドで症状が抑えられていましたが、25歳くらいから治りにくくなり、その頃インターネットや周囲の人からステロイドが怖いという情報が入ってきて、不安になってしまいました。

江藤先生 24〜25歳というと、成人のアトピー性皮膚炎治療で、ステロイドが効かなくなつたように感じる時期です。ステロイドを塗る時もフィンガーチップユニットを実践していなかったのではないですか。

江森さん そうですね。その頃、通っていた気功の先生にも1度ステロイドを抜いて悪いものを全部出さなければだめだと言われていました。

江藤先生 2〜3年前、ホメオパシー(*1)に関してはしっかりとエビデンス(*2)のないことが報告されていますが、気功も同様で、ストレス解消としては有意義かもしれないものの、治療効果は科学的に証明されていません。

ところで、脱ステロイドをやめようと思ったのは、丸山さんに出会ってから

すか。

江森さん はい。友の会の本(*3)を読んで、丸山さんに出会い、ボランティアに参加させてもらうようになったのがきっかけです。でもステロイドを月10本使っても改善しなかった経験もあったので、本当にステロイドだけで治るのかとても心配でした。

江藤先生 全身に重い症状が出ている場合、ステロイドは1日20g、1週間で14本必要ということになりま。1カ月で10本も使っているのに治らない、と思っていたのに、実は10本では全然足りていなかったのです。

(*1) 人間が持つ自然治癒力引き出すという考えに基づき、病気の治療を目指すこと

(*2) 科学的な根拠

(*3) 『患者だからわかる アトピー性皮膚炎』(NPO法人日本アレルギー友の会 著)

(「パルティスファーマ(株)サイト「アトピー性皮膚炎ドットコム」より)



江藤先生を囲んで参加者全員で

“健康”という名の
“しあわせ”を守りたい

鳥居薬品株式会社
〒103-8439 東京都中央区日本橋本町 3-4-1
http://www.torii.co.jp

科学をライフケアに

http://www.abbott.co.jp

アボット ジャパン株式会社
〒108-6303 東京都港区三田3-5-27 住友不動産ビル西館

Abbott
A Promise for Life

gsk GlaxoSmithKline 生きる喜びを、もっと
Do more, feel better, live longer

花粉症、アレルギー性鼻炎の情報は▶▶▶
<http://biennet.jp/>

喘息の情報は▶▶▶
<http://zensoku.jp/>

グラクソ・スミスクライン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15 GSKビル

